

# やまゆり

学校だより

令和5年12月5日  
65号  
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」  
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」— 気づき・考え・実行する —  
校内研究重点 「個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する生徒を育成する」

学校教育目標重点 「確かな学力の育成」 「生徒の良さを伸ばす連携」

「自主学習の充実」について義務教育課の指導主事に指導していただきました

11月4日(月)の6校時に、義務教育課の鷹野指導主事に「自主学習の充実」について、指導をして頂きました。この学習会では全校生徒が参加し、各学年の生徒で3名程度の小グループをつくり、「相談しながら学習計画を立てる活動」をしました。

各グループの中で3年生がリーダーとなり、下級生の相談に乗りながら集中して学習計画を立てる生徒の様子をみて、「とてもしっかり取り組める生徒」であることや、「ICTの使い方に慣れており、日頃からの授業でのスキルの定着が高い」と評価して頂きました。

どんなに良い授業を体験しても、自分で学習しないと学びは定着しません。説明を受けて、「分かる」ことと、「できる」ことは決定的に違うので、「高校進学後も社会に出ても、自ら計画を立てて学ぶ力」の育成は重要です。今後も、継続して指導していきます。

義務教育課の鷹野指導主事の指導



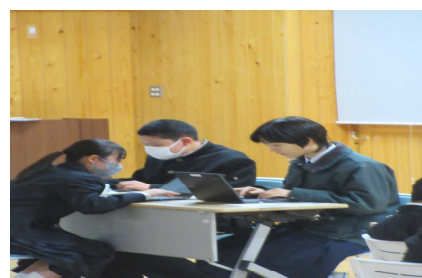
学習会の様子



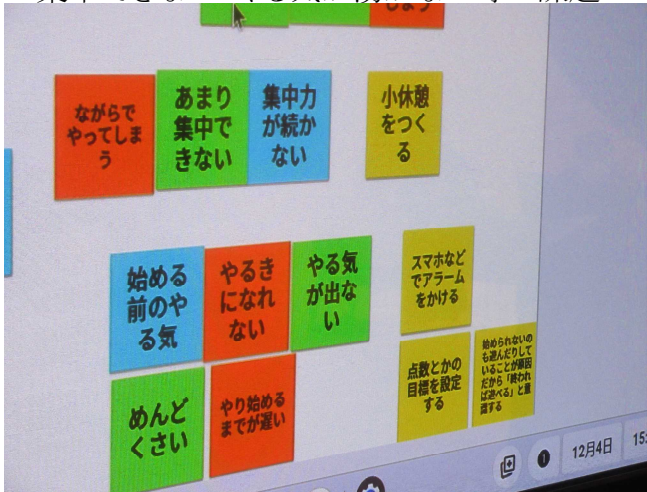
異学年で班を単位に相談



自主学習計画の作成



集中できない・やる気が湧かない等の課題



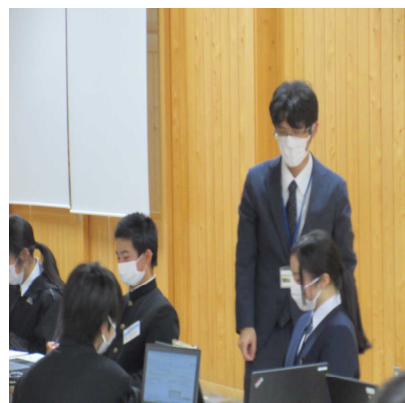
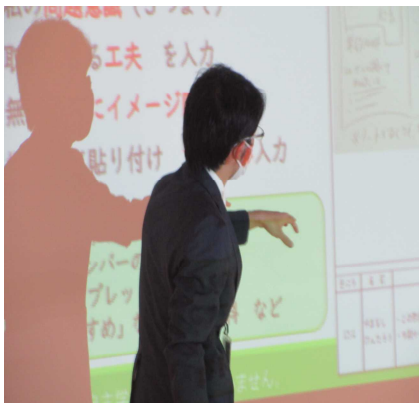
課題を改善するための学習計画



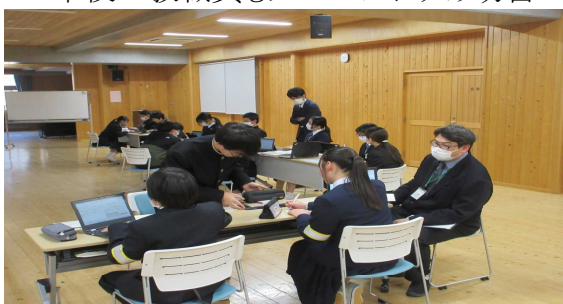
各班で3年生がリーダーシップをとりながら学習計画をたてる活動を推進



知識や技能を教える指導を他校でしてきたが、本校では生徒自身に計画を立てる活動を指導



本校の教職員もグループに入り助言



生徒会長の景己さんからお礼の言葉



学校教育目標重点 「確かな学力の育成・豊かな心の育成」

学ぶことや高校進学の目的を問い、「心身の健康と幸福な人生」について考える

## 1 「心身の健康と幸福な人生」の実現

・心理学の世界で指摘される幸福は、「良い人間関係を築けているか」の比重が大きい。

家族・友人関係・仕事等 ※ 学校が大好き→友人・先生との関係が良い

・10代で重要視される「頭の良さ」

しかし、「頭の良い人が仕事ができ、人間関係が良いとは限らない」



○ 幸福な人生を送るために重要なことは、頭の良さだけではない。

○ 部活動に一生懸命打ち込み、人のために尽くし、好感をもたれる人もいる

## 2 「10代の特徴」

○身体と心の大きな変化の時期 ※小学生の時期とは決定的に違う

① **自分について考える時期** ※アイデンティティ(自分をつくる)を形成する時期

② **衝動的になりやすい時期** ※何かを欲しい・認められたい・友人や人の評価が気になる  
誘惑に負けやすい・リスクのある行動を好む・感情的な起伏

③ **友達に対して強く反応しやすい時期** ※異性への興味・友人の目・評価

## 3 「認知能力」と「非認知能力」

① 「認知能力」は、「知能」を指し、学力や仕事の能率に影響する ※知能指数がその例

・情報処理能力 勉強や仕事をテンポ良く・速く解決していく力

・推論する力 与えられた情報だけでなく、情報を活用して予測したり、思考を膨らます力

② 「非認知能力」は、認知以外の能力を指す。※人生の幸福・学習にも大きな影響を与える

1) **目標を達成する力** 10代はあきらめやすい→**実行機能・粘り強さ・やる気** ●誘惑

2) **自分に向き合う力** **自尊心・自己効力感** ○他者との比較 ●憂鬱・自身喪失

※自信がないと発言・行動・挑戦に消極的になる

3) **他人と付き合う力** ※**感情知性(人の感情に気づく力)・向社会的行動(社会貢献)**

家族からの独立 親離れ・子離れ

※ この3つの力は「衝動的になりやすい10代」にも重要

#### 4 非認知能力はなぜ今、注目され、重要と言われているのか

##### ① 「人生の幸福度に直結する可能性がある」から

人間関係や学校生活、仕事、経済的側面、健康面等と関係している

##### 例 目標を達成する力の強い人

・勉強や仕事で辛いことがあってもめげずに粘り強く取り組み、実現させることができる。

##### 例 人の感情が読めて、親切な人

・良い人間関係を築ける可能性が高い 人気のある人・大切にさせる人・友人の多い人

##### ② 「教育や支援によって成長させることができる」可能性が高い

※ 認知能力(IQ)は、生涯に渡ってあまり変化しないことが知られており、その成長は極めて難しい。

○ 非認知能力は、成長させることができる可能性が高いと言われている。

○ しかも、大人になってしまうと非認知能力の成長は難しいが、10代は成長が期待できると言われている。だからこそ、意味があると言われている。

#### 5 勉強の目標達成にも非認知能力は大きな影響がある

##### ① 「分かる」と「できる」は全く違う

○先生に「良く分かる学習指導」をしてもらうのは重要です。

・塾でもオンライン授業によって、お金を出せば質の高い、良く分かる授業を何度でも視聴することができる時代

##### ●「良く分かる(オンライン)授業」にはメリットもあるが、「落とし穴」もある

① 良く分かると、できる気持ちになる。

② オンライン授業は、今勉強しなくて良い。集中力が低くても良い。→何度も見られる。

③ 学習者がどのように理解し、どの程度定着しているかを確認していない。

④ オンライン学習は理解できると次の授業を見たくなり、定着がおろそかなまま先に進む。

⑤ 質の高い有名講師によるオンライン授業は、とても情報量(料金)が高い。

◎「自分で復習し、練習問題を繰り返し解き、ミスなく確実に、しかも高速で解く練習をしないと、できるようにはならない可能性が高い」 → 自学自習の必要性



◎自学自習で、「いかに学ぶか」、「定着を確認するか」等を身につける重要性を再認識。

※ 認知能力だけでなく、やる気・実行機能・粘り強さ等の非認知能力が影響している

◎上記の考え方や学び方について、改善・克服していきたいと思います。